

〈ケア〉を考える会 (第 121 回)

■日時：2018年12月2日(日) 13:30~17:30

■会場：京都市山科区安朱中溝町3-2
山科駅より東 徒歩3~4分の民家
(山添 宅) (安朱保育園 東隣)

■当日の大まかな予定

13:00 ⇒ 有志集合…会場準備等
13:30~ ⇒ 学びの会/対話
15:30頃~ ⇒ 懇親会(笑いヨガ/音楽演奏なども)
17:00~17:30 ⇒ 片付け、終了
(その後で、名残惜しコーヒータイム?)

■内容

(1) 発表と対話

『夜廻り猫』で考える〈ケア〉

発表者：上條 美代子 さん (看護師)

(2) 懇親会……食べながら飲みながら語り合います (持ち込み歓迎)

★会費：懇親会参加者のみ 1000 円。★どなたでも参加できます (初参加歓迎)。先着 20 名程度。

★問い合わせ⇒ 林まで：michi-care@outlook.jp 090-5366-1497



『夜廻り猫』(講談社)

深谷 かほる 著

「泣く子はいねが〜、泣いてる子はいねが〜」涙の匂いを辿ってやってくる夜廻り猫の遠藤平蔵。懸命に生き、必死さゆえに傷つき涙するあなたに寄り添います。 ツイッター生まれの8コマ漫画は第21回「手塚治虫文化賞」短編賞を受賞。

わたしたちはじぶんのいのちが他のいのちとの交換のなかにあることを知らされる。

(鷺田清一『老いの空白』P.227)

ひととひととの関係において重要なものは、各人が主体的にどのようなしようとしているかではなくて、いつとはなしにお互いが心を開いてしまっているという事態である。

(池上哲司『傍らにあること』P.169)



おたがいの言葉を手がかりに考える時間をもつこと、確かめながらゆっくりと考える時間を共にし、分け合う。「考え」でなく、「考え方」をお互い共有してゆく。

対話には結論はありません。プロセスをゆたかにできなくては。

(長田弘『なつかしい時間』P.191)

「〈ケア〉を考える会」ホームページ
<http://care-kyoto.jimdo.com/>

「〈ケア〉を考える会-岡山」
<http://okayama-care.jimdo.com/>